

学校だより

【第2号】令和3年7月16日発行

＜群馬県立しらがね特別支援学校（通信）＞

しらがね運動祭

5月22日（土）にしらがね運動祭が行われました。自分の力を精一杯出して運動をすること、友達と体を動かして楽しむことを目標に、全校生徒が全力で競技に参加しました。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、種目内容や応援席の変更など、感染対策をして実施しました。保護者の方々の参観も予定をしておりますが、感染防止のため参観中止の判断をさせていただきました。保護者の方々にはお詫び申し上げます。

競技種目の「歩いて！走って！」では、全力でゴールを目指す姿、「今日のラッキーマンは誰だ？」では、グー、チョキ、パーが描かれた大型のサイコロを校長先生が振り、何がでるかな？とソワソワ、ワクワクしながらじゃんけんをしている姿、「リレー」では、仲間と必死にバトンを繋ぎながら走る姿、また、応援する姿、「みんなでレッツ・ダンシング！」では、お祭り棒を持って「しらがねダンス」を笑顔で踊る姿が見られました。

全体を通して、生徒の笑顔が多く見られ、「運動祭、楽しかった」などの感想がありました。運動祭での頑張りや成長が、今後の様々な活動に繋がることを期待します。



オンライン学校公開

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、6月の学校公開は中止になりました。その代わりに、しらがね特別支援学校のホームページ上で、オンライン学校公開をしています。さまざまな動画を公開していますので、ご覧ください。

＜作業学習＞

① 農耕グループ（農場）



ゴーヤの栽培(定植)



野菜の販売(学校にて)

＜生活単元学習＞

「中学部祭りをしよう」



紙玉釣りゲーム

高等部 1学期就業体験

5月31日から6月11日まで1学期就業体験が行われました。新型コロナウイルスの影響もあり、校外での就業体験が中止や延期になってしまったこともありましたが、急遽校内での就業体験になってしまった生徒も含め、一人ひとりの生徒が目標達成のために就業体験に一杯臨むことができました。

校内就業体験では会社や事業所から部材の提供を受け、実際の製品を扱う貴重な体験をすることができました。不良品を出さないために集中して作業を行い、しっかりと確認をする力を高めることができました。この経験を生かし、さらに働く力を高められるよう2学期の就業体験に臨んでほしいと思います。



中学部就業体験

6月14日から18日まで、第1回校内就業体験を実施しました。

実施に向けて事前に、就業体験についての説明を聞いたり、高等部就業体験の見学をしたりしました。先輩方の働く姿を、関心を持って見ていました。

就業体験中は、毎朝、校内に設置した「中学部工場」に出勤し、その日の日程等を工場長から聞きました。その後、製品を大切に扱うためにきれいに手を洗い仕事に取りかかりました。今回は大型洗濯ばさみの組立や、ティーピンを規定の色や数にひとまとめにする仕事などを体験しました。材料が不足した場面や、製品ができあがった場面では、検品所に行き必要な連絡や報告を工場長に伝えようとしていました。普段の学習とは違う環境で同じ仕事を続けることに大変さを感じたり、集中して仕事をすることに疲れを感じたりの1週間でしたが、最終日に給料を手渡され、頑張ったことに満足しているようでした。

この5日間で身だしなみを整えることや、報告・連絡・相談をしっかりとすることなど各自が学び取った成果をふまえて、10月の第2回校内就業体験を実施したいと思います。

